令和４年度　新宿区「大学との連携による商店街支援事業」

新宿タウンデザイン
事業報告

工学院大学

背景と課題

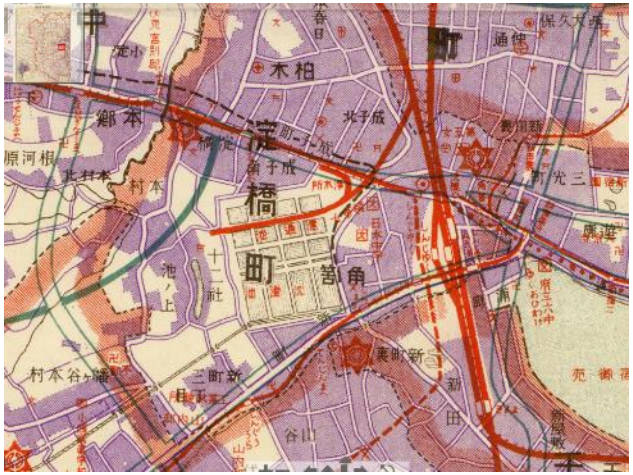
・工学院大学プロフィール

1887［明治20年］

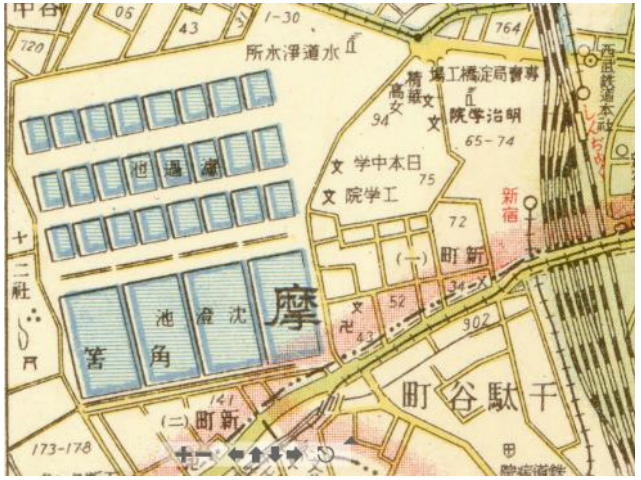
10月31日帝国大学総長渡辺洪基を中心として、工手学校創立協議会が開催される。

1923［大正12年］

関東大震災により校舎全焼する。淀橋町日本中学校を仮校舎として授業再開する。



国際日本文化研究センタ“最新大東京地圖”　1925[大正14年]



国際日本文化研究センタ
“東京市街地図：復興完成記念：東京日日新聞附録”　1930[昭和5年]

・十二通りとの歴史関係

応永年間[1394～1428]　鈴木九郎が紀州熊野三山より十二所権現をうつす。(十二社熊野神社)

1606年（慶長11年）　伊丹播磨守によって十二社の地に大小二つの池が造られる

享保年間[1716～1735]　八代将軍吉宗が参拝。料亭・茶屋が立ち並ぶ観光地とし繁栄。

1968年（昭和43年）　新宿副都心計画に伴い十二社池が埋め立てられ消滅

1970年（昭和45年）　住居表示変更により“十二社”の字名は西新宿に吸収

COPYRIGHT KOGAKUIN UNIV. 2022-2023

事業コンセプト

元淀商店会マップ作製

「学生から見た新旧元淀をエッセイとして加える」

(1)商店紹介機能（商店写真，コメント）
(2)商店街への誘引機能（商店街のロケーション，街としての魅力）

- (1)取材，構成，デザインなどを通常の商店街マップとして作成いただく
- (2)カラム欄として一部を切り出し，写真やコンテンツを大学の方で作成

参考資料
（哲学堂商栄会）

COPYRIGHT KOGAKUIN UNIV. 2022-2023

実施概要 1

（商店取材マップ＋学生コラム）

表紙

商店
紹介 1

実施概要 2

商店
紹介 2

元淀めぐり

SKINNY Fats （スキニーファッツ） パスタ専門店

ランチ 11:00~15:00　カフェ 15:00~17:30
土日祝・定休　050-5484-1085　https://gdmp303.gorp.jp
〒160-0023 新宿区西新宿6-26-9

店名は、スキニー＝健康志向のグルテンフリーでサラダ付き、ファッツ＝パスタが通常の1.5倍の量でソースもトッピングもたっぷり具だくさんのイメージから付けた。

一般にパスタは茹で上がるのに8分はかかるものだが、約2分で仕上がるように一工夫している。

「この周辺で働く方々のお昼を手伝いたいんです。今はランチ中心ですが、モーニングにも挑戦したいと思っています。パスタはもちろんカレーなど、毎日通っても飽きないようにメニューも充実させていきたいですね」

店長　江口 稔（えぐちみのる）さん

大きなソーセージ乗せ1ナポリタン（上）1,100円（税込）
海老とアボカドのジェノベーゼ（下）1,250円（税込）

成子坂下の角地にある落ち着いたオシャレなお店です

店長の江口さん

カギの救急車 新宿店 カギ販売・修理

11:00~17:00（店舗営業）　03-3374-3999
24時間365日受付 0120-698-999
〒160-0023 新宿区西新宿6-26-9

お仕事の合間や帰りがけなど、お気軽にご利用ください。鍵のことなら、どんなことでもお訊ねください。24時間、年中無休でお伺いいたします！

店長　佐野 誠一（さのせいいち）さん

登喜和 中華料理

11:30~15:00　土日祝・定休
03-3348-5550
〒160-0023 新宿区西新宿6-26-9

今年で75年の老舗。今の店主は先代と一緒に山形から上京。米や醤油は今でも山形のものを使っている。昔は中目黒と東中野にも支店があり、自転車で出前もしていた。今はご主人と奥さまが料理、配膳を娘さんと姪御さんが担う家族経営。

カツ丼などの丼ものが特に人気。肉ピーマン炒めは青椒肉絲風の味付けだが豚肉を使っている。もちろんどれも大盛りで、スープとお新香がセットで付いてくる。

客はほとんどがサラリーマンだが学生もよく食べに来る。時間によっては10~15分待ちの行列もできるが回転率がいい。美味いから待つ、席が少ないからすぐ帰る。

「元淀は、昔は商店街としても広くて、ここだけで全部がまかなえるくらいだった。この店の左右には傘やと不動産屋。今川焼き屋があった。洗濯屋と呉服屋は長くやっているな。昔からある中華はここだけだ」

店主　鴨田 利通（かもだとしみち）さん

らあめん花月嵐 西新宿6丁目店 ラーメン

11:00~23:00 終了時間は延長の場合あり　年末年始は休日の場合あり
03-5990-5766　http://kagetsu.co.jp　〒160-0023 新宿区西新宿6-26-8

嵐げんこつらあめん 760円(税込)

店長のサハさんは19才で来日。国際貿易専門学校を卒業後に『らあめん花月嵐』へ入社、店長としてはここが4店舗目となる。現在は、ネパール人の女性と結婚し、4才の男の子がいる。

「花月嵐は台湾、中国、タイなど海外にも出店していますが、ネパールにはまだないので出来たら嬉しいですね。ネパールでもインスタントラーメンはよく食べられています。米食がメインなのでラーメンは新しい味として受け入れられているんですよ。ラーメン屋は油で汚いなどのイメージもありますが、花月嵐はきれいで入りやすいお店だと思います。売れ筋は豚骨ベースの背脂醤油『げんこつらあめん』ですが、他にも1ヶ月ごとに切り替わる期間限定ラーメンなどいろいろあります。是非一度ためしてください。Uber Eatsでデリバリーもやっています！」

マネージャー
サハ・ヘム・バハドール（Shah Hem Bahadur）さん

遠州屋呉服店 呉服・ニット

10:00~18:00　日祝・定休　03-3342-4008
〒160-0023 新宿区西新宿6-26-8

ショーウィンドウには、襟に『淀橋遠州屋』と染め抜かれた半纏がかけられている。

「父が丁稚奉公に入ったお店が『遠州屋』という店で、そこから暖簾分けで頂いた名前です。元淀に来たのは昭和28年頃」

近くのデパートよりも安く売って繁盛した。やがて時代の流れで和装は減ったが、文化服飾学院出身の奥さまが洋服も扱っていたため、元淀や近隣の女性のおしゃれを長く担うことになった。

「元淀商店会はみんな一国一城の主だから個性がありますが、お祭などで集まるとみんな仲が良い。ついこの前まで5丁目側にもお店があってにぎやかな商店街だった。浄水場が全部なくなって、大きなビルが立つようになってから街が完全に変わってしまいました。みなさん代替わりして周りはどんどん変わっていっている。お客さんには悪いんだけれどボケ防止も兼ねてやれるところまでやらせていただきたいですね」

店主　鴨月 敏次（もちづきとしじ）さん

『淀橋 遠州屋』と染め抜かれた印半纏

奥さまのひろ子さんと仲むつまじく

口福になれる店 和風焼肉 若葉 焼肉

夕方~23:00
入店は21時迄の看板に灯りがある間
水・定休　03-5381-0087
〒160-0023 新宿区西新宿6-26-8

今年で創業49年目の焼肉店。タレやスパイスは勿論、ドレッシングも全て手作り自家製との事。独創的なお肉も多い事からおまかせのコースのみで提供。おかみさんが持つお酒と食に関する資格は、ソムリエ協会認定資格のソムリエ、酒ディプロマ、そして国家資格の調理師、製菓衛生師（パティシエ）と多彩。確かな知識に裏打ちされた、お肉とお酒との最高のペアリングを提案してくれます。デザートもここでしか味わえない完全オリジナルレシピ。お食事をしっかり楽しみたい日に最適です。

店主　上四元 敏明（かみしもとしあき）さん

世界一旨い！天使の鶏ナンコツ

仲良く二人三脚で

ソムリエ、酒ディプロマの資格認定バッジ

板さんとのツーショット

開店から閉店間際まで行列が続く

長沢山の定番肉ピーマン丼900円（税込）とカツ丼 800円（税込）

厨房へのオーダーは今も昔ながらの札

昭和30年ころのお店

03

04

COPYRIGHT KOGAKUIN UNIV. 2022-2023

実施概要 3

商店
紹介 3

元淀めぐり

都ランドリー クリーニング

8:30～19:00　日・定休　03-3344-3116
〒160-0023 新宿区西新宿6-26-7

にこやかでピッタリ息の合った店長と社長でした

昭和35年に四谷にて開業。昭和41年に元淀に移転し、二代目が25歳頃に継いでからもう30年ほどになる。

店長「お客さんのほとんどは近所の人です。私はドライクリーニング。水洗いと染み抜きは社長が担当で、なかなか上手いと思いますよ。丁寧な作業をしています」

社長「昔の元淀は少し怖いイメージがあったね。怖いガミガミおじさんがたくさんいた。今は逆にちょっとゆるゆるすぎかも」

店長「民家しかなくどの道も狭くて、拡張前の道路は一車線だったな」

社長「今はここだけマチュピチュみたいにぽっかりと残っている。開発で新しいビルになってしまったら今の業態では続けられないと思う。ワイシャツだけは業者に出しているが、それ以外はうちの店舗や屋上で洗浄していて、そういうのは大きなビルでは難しいだろうしね」

社長　藤井 豊（にまいゆたか）さん右
店長　大久保 誠（おおくぼまこと）さん左

とりみつ 弁当・総菜

お昼11:00～売り切れまで　土日祝・定休　03-3342-6891
〒160-0023 新宿区西新宿6-26-6

一番人気の唐揚げは一個から注文可能

売り切れたら営業終了です！

とりみつの開業は祖父の代。元々は鶏肉専門の卸と小売業だったが、周辺の再開発とともに売れ行きが振るわなくなってきたため、弁当販売に切り替えた。今も焼鳥屋などには鶏肉と卵を納めている。

「2代目にあたる主人が亡くなった後はおばあちゃんと息子と三人でやってたけど、去年おばあちゃんも亡くなってしまったので、今はとても忙しいんです。息子のこだわりで注文が来てからお米を詰めたり、味噌汁をよそって、アツアツのお弁当を提供してます。でもそのおかげで毎日行列ができちゃう」

お客さんは口コミで来る常連さん。準備分が売り切れたら、その日は営業終了。

「西新宿は、お嫁に来た昭和50年からはずいぶん変わりました。当時は下町で、三井とか高層ビルのひとつも建っていなかった。いま残っているのはここ元淀だけになってしまいましたね」

店長　瀧澤 佳代子（たきざわかよこ）さん

うなぎや せきの うなぎ

11:30～14:00　17:00～22:30
〒160-0023 新宿区西新宿6-26-16

あいのり丼（左）うな丼（右）各2,750円（税込）
四万十うなぎは仕入れられない日もあるので、確実に食べたいときは電話などで確認を

代々木八幡で16年前に『二代目申長』としてスタート。90年つづくタレと共に先代から引き継いだ名だったが、伊勢丹の催事出店を機に屋号を『せきの』に変更。

名物の四万十鰻は天然より美味い！入手困難だが、問屋を通さず直に生産者から仕入れている。四万十川に上ってきたシラスしか使わず、生育管理もしっかりしている。

「うなぎが見えるくらいきれいな四万十川の水で泳いでいるから身に臭みがない。これを江戸焼にしている店は少ないよ。ギリギリまで蒸すと、スプーンが欲しくなるほど、しっとりでホロホロになる。うなぎ以外にもヒレや赤バラなどの珍しい串を出しているので、それを目当てに来る常連さんも多い」

「元淀商店会の人はみんないい人ばっかり。それに祭の結束力がすごい。御輿を担ぎにそのときだけ戻って来る人もいるくらいですよ」

店長　早坂 嘉真（はやさかよしまさ）さん

十四代をはじめ銘酒が並んでいる

ヘアメイク フガール 美容室

11:00～19:00　土日祝 10:00～18:00
〒160-0023 新宿区西新宿6-26-7 2F　03-3342-8828

店内はクリームイエローとグリーンをベースにした心安らぐ雰囲気です。ミドル世代を中心に幅広いお客様にご来店いただいています。

カット4,950円～ パーマ 11,000円～ カラー 7,700円～（すべて税込）

西新宿 小町食堂 食堂

24時間 年中無休　03-6304-5360　https://arc-komachi.jp
〒160-0023 新宿区西新宿6-26-16

きくらげの玉子炒め、にらレバ炒め 各350円（税込）

24時間いつ来ても、待たないで食べられる食堂として元淀にオープンして14年。

「種から好きな総菜を選んで、温めるものやごはんをカウンターで受取りテーブルへ。パッと来て、パッと帰れる。みなさんお昼休みも短いですしね」

オープンから変わらない定番おかず4種と汁物に加え、季節に合わせた洋食、揚げ物、刺身など豊富な総菜を揃えている。酒とつまみも出している。

「最近はどこのランチも千円はかかるけれど、ここなら千円以内で食べることもできる。自分で好きなメニューを組み合わせられるのが魅力。商店会の他の店と比べて女性のお客さんが多いかもしれません。

今後、元淀の開発が進んでいったとしても今の小町食堂がそのままの形で残るといいなと、それを目指してがんばって行きたいと思っています」

店長　佐藤 弘行（さとうひろゆき）さん

ファミリーマート 西新宿アトラスタワー店 コンビニ

日祝・定休　土・不定休　03-3342-6494

24時間 年中無休　03-5909-5692
〒160-0023 新宿区西新宿6-25-8

「こども一日店長・こども食堂」のイベント開催

店長の青木さんは東京都ファミマのサービス&クオリティ・クリンネスコンクールの殿堂入り店舗をいくつも手がけた実績の持ち主。

この店舗の客層はオフィスの会社員が多く、土日はお客さんが少ない。その隙間を使い、コロナ前に近隣の家族を招く『こども一日店長・こども食堂』のイベントを開いた。

「ユニフォームを着たお子さんがレジを打って、親御さんがお客さん役。ほかにも冷蔵庫の商品の補充をしたり、休憩スペースで一緒に食事会をしました」

予想以上の盛況で、「コロナが落ち着いたらまたお願い」と言われるほど。地域密着を都心でもできるんだぞという手ごたえがあった。

「商店会に参加したきっかけは会長さんの声掛けから。東京にもこんなにあたたかいコミュニティがあるんだなと嬉しくなりました。長く元気で続けて欲しいです」

エリアマネージャー・店長
青木 竜也（あおきたつや）さん

05　06

実施概要 4

学生コラム

元淀の歩み 後編

永山勝也さん
工学院大学　大学4年生　22歳
まち開発プロジェクト-Smart Tech-という学生団体に所属
顧問は情報学部学部長の三木良雄教授
「趣味は温泉巡り、サウナです」

都市計画を学ぶ学生から見た元淀

フラッグ作成など元淀商店会と関わってきた地元西新宿の工学院大学の永山さんが見た元淀の今とこれから

元淀商店会のある西新宿五丁目、六丁目はこの50年ほどで著しく変化しました。十二社通り、青梅街道も拡幅され物理的に建物間の距離ができてしまい、再開発によりマンション住宅地になったことで住民同士の交流も希薄化しています。元淀商店会にとっては再開発により良い影響も悪い影響も受けてきた50年だと思います。これからも再開発によるビル化はさらに進むと考えます。「街が細分化されビル単位で一つの街ができつつある」元淀はそのような状況です。そしてその街に蔓延してしまった課題を解決していくのが元淀商店会だと考えています。下町のような人の温かさや交流を大事にしている商店会の姿は、毎年行われる新宿熊野神社の例大祭や、商店会に加入している商店を訪れると垣間見えてきます。商店会の存在意義が昔に比べ薄れてきているからこそ、新しい商店会の在り方を考えていかなければなりません。私は「人同士の拠り所になる場所」が新しい在り方だと思います。コロナウィルスにより人との繋がりがどれだけ重要だったのかを再認識できた近年、商店会がその繋がりを育む場所となることがこれからの元淀には必要だと思いますし、街に欠けているところだと思います。私の願いも含め、元淀にはそのような人の温かさを再認識できる街になって欲しいと思っています。

昭和60年頃の元淀（元淀商店会の会報誌より一部抜粋）

西新宿5丁目から6丁目の一部にかけて、ごく最近まで新宿区淀橋町と称した。この町名は青梅街道を横切る神田川にかかる橋の名が淀橋と名付けられたので淀橋町となったもので、その由来は遠く徳川将軍家光が命名したと聞く。その淀橋町の入口にあたる十二社通り元淀商店会として発足した。

メイン通りである十二社通りも時代の変遷と都市計画によって道路の幅員も15Mになり、さらに25Mと拡幅され、そこに近代的なビルが立ち並ぶ整然とした商店会ができた。

以来10年、都庁の移転が決定すると同時に再開発推進地区となり、行政指導も交えて再開発構想が随所で発表され、平穏な商住の街からビジネス街として大きく変わることは必至であり、今後の商店会運営についてはかなりの至難が予想される。

その一環事業として、電線の埋設工事を機に街路灯の新設を会員の寄贈により昭和59年に完成。近代的な照明のもと販促と会の活性化を大きく投じている。また同時に街灯会も創設し、その運営もようやく軌道にのってきた。

写真は元淀商店会の中心地にある元淀稲荷で初代会長秋山氏が伏見稲荷大明神の分神を奉戴して祭ったもの。恒例になっている初午祭りも商店会事業として執行されている。

元淀商店会 会長 滝沢光男（当時）

元淀の歩み 前編

鈴木常生さん
元淀商店会会長　73歳
大阪屋化粧品店 店主

石月柊汰さん
工学院大学　大学2年生　20歳
まち開発プロジェクト-Smart Tech-という学生団体に所属
顧問は情報学部学部長の三木良雄教授
「まちづくりを学びたくて工学院大学に入りました」

商店会会長が語る元淀の歩み

地元西新宿の工学院大学で都市計画を学ぶ石月さんが、
初めて訪れた元淀商店会の鈴木会長にこの50年間の街の変化についてインタビューしました

元淀は今、防災街区の再開発が行われているんですが、昔はどんなところだったんですか?

鈴木会長―道路沿いは5、6階建ての建物があって1階は商店があるイメージで、元淀商店会の会員だった。10年程前までは30幾軒のお店が再開発で14軒になってしまった。お店は他地区へ移動したり、ご年配の方はそのまま廃業したりする人もいた。防災地区に指定されるぐらいだから木造の家も多かったね。あとは駐車場もあった。十二社通りの東側も似たような場所だったけど30年くらい前に地上げがたくさん起きて更地が広がったりしていたよ。もうこの50年くらいで元淀はすっかり変わってしまいましたね。

この50年で会長の元淀に対するイメージも変わりましたか?

鈴木会長―変わりましたね。昔は小さな川が流れていたり、小学校の下校時にはカエルやザリガニを売っているおじさんが校門前に来たりして江戸下町のような所でしたよ。あと、昔は木造で隣近所がくっついていたから、何かあったら声掛けあってたけど、今はマンションとかが多くなって関わりが薄くなっちゃたよね。マンションに移った昔の知り合いに会おうと思ってもセキュリティが厳しいから会いに行きづらくなった。

元淀商店会は再開発とどういう風に向き合っていかなければならないと思っていますか?

鈴木会長―僕の思いとしては再開発になると、みんな一つ一つのビル単位の再開発となって、一つのビルで街として成り立ってしまっているように思う。町会に入らなくてもマンションの管理組合に入れば防災面などで大丈夫な状況になっている。商店会も同様で、商店会としても再開発でできた新しいお店を仲間に入れないと活動ができず、存在価値がなくなってしまう。昔から居た人は入ってくれるけど、新しく来た人はなかなか全員は入ってくれないよね。ビルがここに建ちますよという情報が入った時点で、町会は管理組合さんに入ってくださいって頑張るけど、任意だからなかなか入ってくれない。難しいね。商店会も同様でこんな風に街とのつながりが薄くなっていっている。だから私たちは、その繋ぎ役のような、街と人を繋ぎとめる存在でありたいかな。そのためには、みんなが集まれるような空間や場所をつくっていかないと、と考えています。

昭和30年頃の元淀商店会（写真提供：豊藤和）

令和5年の成子坂下から見た十二社通り

01

実施概要 5

新聞折込3100部，商店会で配布1900部

5000部作製

2023年オープンのイオンフードスタイルに対しても活動をアピール

◆ 読売新聞

販売店	電話番号	担当エリア	エリア限定	配布エリア	部数（概算）
西新宿	03-3370-4604	西新宿 3・4・5・6・7・8丁目	可	西新宿 5・6・8丁目	700
			約250～300	西新宿 4丁目	300
北新宿	03-3371-7899	北新宿 1・2・3丁目	不可 480くらいだけど500あればOK	北新宿 1・2・3丁目	500
東中野	03-3371-2932	本町1丁目 中央1丁目 その他	可	本町1丁目 中央1丁目	250
（中野） （今回関係なし）	03-3381-1031	弥生町2・4・5丁目 本町4・5・6丁目 和田1・2・3丁目 方南2丁目 の一部	関係なし	関係なし	関係なし
			読売新聞	合計	1750

◆ 朝日新聞

販売店	電話番号	担当エリア	エリア限定	配布エリア	部数（概算）
大久保 （カネシロさん）	03-6233-7582	北新宿 1・2・3・4丁目 西新宿 4・5・6・7・8丁目 百人町 1・2・3・4丁目 新宿 1・2丁目 歌舞伎町 1・2丁目 他	可 （一部指定エリア以外も入る）	北新宿 1・2丁目 西新宿 5・6・8丁目 中野区弥生町 一部 渋谷区本町 一部	700
				西新宿 4丁目	150
中野	03-3382-4411	本町1丁目 中央1丁目 中央2丁目 その他	可 （指定エリアを網羅して、一部周囲も含む）	本町1丁目 中央1丁目 中央2丁目	500
			朝日新聞	合計	1350

4丁目あり	読売新聞＋朝日新聞	3100
4丁目なし	読売新聞＋朝日新聞	2650

COPYRIGHT KOGAKUIN UNIV. 2022-2023

予算執行状況

マップ作製（取材，冊子作製，新聞折り込み配布）

1,5441,000円　（交付金全額）

次年度以降の計画（案）

（２０２３年度）

新街区商店連携
・商店会加入促進
・地域イベント企画参加

ステッカー作成
・加入店識別用のステッカー作成

例大祭時の集客
・特別商品企画
・ノベルティ作成

認知度向上
・ネット上宣伝の拡大

調査継続

継続性向上
・地域広報展開

想定予算：２０００K¥